

研究機関名：仙台医療センター

受付番号：

**【研究課題名】**

脳神経外科長時間手術におけるパークベンチ体位固定の再検討  
～特殊体位による体圧分散効果の検討～

**【研究期間】**

西暦 2019年 7月(倫理委員会承認後) ～2019年 10月

**【研究の対象】**

A 病院手術室スタッフ 33名と過去1年の脳神経外科においてパークベンチ体位で手術を受けた患者

**【研究の目的・方法】**

目的:脳外科手術パークベンチ体位の体位固定方法の検討を行い、体圧分散効果を明らかにする。

方法:①過去1年の脳神経外科においてパークベンチ体位で手術を受けた患者の年齢、性別、BMI、栄養状態(TP, Alb)手術時間と皮膚障害の有無、程度、部位、範囲を収集し皮膚障害の発生率を把握。

②スタッフを対象に、現在の体位固定方法を実施し褥瘡発生頻度の高い箇所の体圧を測定。その値をもとに皮膚・排泄ケア認定看護師、術者と体位固定方法と予防のため使用する器材や材料などを検討。

③検討した器材や材料を使用した体位固定をスタッフに実施し体圧を測定。

④③の結果と従来の固定方法での体圧の比較し体圧分散効果を検討する。

その結果をまとめ院内外で発表する。資料・情報の管理者は手術室看護師長大井敦子とする。

**【研究に用いる試料・情報の種類】**

試料：体圧分散具

情報の種類：過去1年の脳神経外科においてパークベンチ体位で手術を受けた患者の年齢、性別、BMI、栄養状態(TP, Alb)手術時間と皮膚障害の有無、程度、部位、範囲を収集し皮膚障害の発生率。スタッフを対象に、現在の体位固定方法を実施し褥瘡発生頻度の高い箇所の体圧を測定。その値をもとに皮膚・排泄ケア認定看護師、術者と体位固定方法と予防のため使用する器材や材料などを検討、実施した体圧数値。

**【外部への試料・情報の提供】**

電子媒体で専用のPCで保存し、紙媒体で論文作成、院内外の学会で口述発表を行う。病院のホームページに概要を掲示し、対象患者へ告知をする。

**【試料・情報を利用する者の範囲】**

- ・ 仙台医療センター 手術室看護師
- 研究責任者 松本絵莉
- 共同研究者 佐竹雪乃 齋藤果南子 海馬大樹 大井敦子

**【問い合わせ先】**

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出ください。

また情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

仙台医療センター 手術室 松本絵莉 (代表研究者)  
〒983-8520 宮城県仙台市宮城野区宮城野 2-11-12

TEL : 022-293-1111

FAX : 022-291-8114